

2018年10月17日

各 位

会 社 名 株式会社ALBERT
 代表者名 代表取締役社長 松本 壮志
 (コード番号：3906 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員最高財務責任者 村上 嘉浩
 (TEL 03-5909-7510)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年10月17日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2018年7月17日に公表した業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2018年12月期通期業績予想数値の修正 (2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,350	80	78	67	24.66
今回修正予想 (B)	1,550	150	147	130	46.60
増減額 (B-A)	200	70	69	63	
増減率 (%)	14.8%	87.5%	88.5%	94.0%	
(ご参考) 前期実績 (2017年12月期)	872	△161	△158	△172	—

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 修正の理由

当社は2018年1月より経営戦略の変更を行い、体制の改編、ケーパビリティの確保、重点産業・顧客のスコープから成る3つの基本戦略を遂行し、それらが奏功しております。体制の改編においては、内部稼働率が75%前後まで上がり、アライアンス効果も含めデータサイエンティストの人数は100名を超える等ケーパビリティの確保も進展しております。また、AI実装を視野に入れた投資が見込まれる自動車、製造、通信・流通、金融を当社における重点産業とし、中長期的な取引規模の拡大を図っております。

2018年7月からは基本戦略を包含し進化させた「CATALYST (触媒) 戦略」を推進しております。当社が重点産業 (自動車、製造、通信・流通、金融) におけるAIアルゴリズム開発・ビッグデータ分析を通じた触媒機能となり、産業間のAI・データシェアリングを促進することで、早期のAIネットワーク化社会の実現に向けて取り組んでおります。

なお、2018年5月にトヨタ自動車株式会社と業務資本提携し、2018年10月に東京海上日動火災保険株式会社と資本業務提携をしました。

これらの結果、主要プロジェクトの受注が好調に推移していること等により、売上高は当初計画を上回る見込みであります。

また、データアナリストおよびデータエンジニアの人員確保に継続的に取り組むため人件費が増加し、加えて、2019年1月に予定している将来にわたる人員増加やセキュリティ強化に備えた本社移転のため、2018年12月期下期には一時的な費用発生が見込まれるものの、上記収益力の向上によりそれを吸収し、営業利益、経常利益及び当期純利益はそれぞれ前回発表予想を上回る見込みであります。

以上